



定期散布を徹底し、高品質な柿を生産しましょう！

発芽は平年並みの予想です。天候によっては生育が早まる可能性がありますので、今後の生育に十分注意してください。

病害虫の防除は予防を意識し、早めの散布を実施しましょう。

病害虫防除

◎発芽前の薬剤散布

散布日 月 日

散布量 ℓ

散布時期	発芽前（3月中下旬～）		
散布薬剤	水	90ℓ当たり	
	展着剤（ハイテンパワー）	10ml	
	石灰硫黄合剤	10ℓ	（発芽前、-）
対象病害虫	（黒星病）、越冬病害虫 *カイガラムシ等		
散布量	10a当たり：300ℓ		
注意事項	①石灰硫黄合剤は隣接するビニールハウスにかからないようにする。 ②【代替】石灰硫黄合剤に替えてスプレーオイル50倍でも良い。		

（特別防除）カイガラムシ対策

塗布日： 月 日

防除薬剤	アルバリン顆粒水溶剤（前日、4回以内）*塗布は1回、散布は3回以内
防除方法	① 塗布は発芽前～発芽期 ② 地際部から第一主枝の間の主幹を30cm程度、粗皮を削る ③ 水：薬剤＝1：1（2倍）の割合で混合する ④ 粗皮を削った箇所に調合した薬液をハケで塗り付ける 目安：若木は20ml程度、 幹の太い樹（直径20cm以上）は40ml程度

防除の際は必ず栽培日誌に記帳しましょう

次回発行予定

4月17日